



平成 28 年度より院内認定看護師育成が始まりました！！

当院看護部では、より質の高い看護実践やスタッフ教育を行うために、院内認定看護師を育成することになりました。初年度は、感染管理コースと褥瘡ケアコースの2領域です。主に認定看護師が講師を担当します。受講生は、1年を通し講義や実習を受け、学びを深め、2月に認定試験にチャレンジします。

また、認定試験に合格することがゴールではなく、院内認定看護師として様々な活躍が期待されています。

専門看護師・認定看護師一同

講義風景



今回は「集中ケア認定看護師」と「皮膚・排泄ケア認定看護師」が担当いたします。

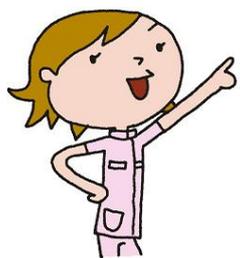
■集中ケア認定看護師の活動

クリティカルな状態にある患者様はICUにいるだけではありません。

病棟にも重症な患者様はたくさんいます。

わからないことや疑問があったら教えてください

一緒に解決しましょう



■皮膚・排泄ケア認定看護師の活動

褥瘡：院内勉強会（年2回）

院内認定看護師褥瘡ケアコース（年10回）

ストーマ：ストーマサイトマーキング勉強会

ストーマ症例勉強会

ほかにも、スキンケアや下肢潰瘍などの創傷管理、失禁ケアなど幅広い分野で活動しています。

お気軽にご相談ください。

皮膚・排泄ケア認定看護師の活動



◆スキンケアの基本の一つである保湿ケアについて

スキンケアの基本は、清潔保持、保湿、保護の3本柱です。

皮膚の生理機能を正常に保つことを目的としています。そのためには、皮膚障害の原因となる刺激を取り除いて皮膚を守り、皮膚障害を予防・改善させる環境を整えることが必要です。

これまで、スキンケアの重要性は、褥瘡やスキケアなど皮膚に関する勉強会を通じてお伝えしてきました。臨床現場でも積極的に保湿剤を活用しているスタッフが増えていると感じています。

課題として独居や高齢、家族背景の問題、ADL 低下など保湿剤の購入依頼をしにくい状況がある事も見えてきました。

そのため、今回新たに、比較的安価で、保湿能力がある保湿剤として「ベアテル保湿ケアローション」を導入することになりました。各病棟のSPDに配置していますが、費用は自己負担になりますので、必ず御本人またはご家族に説明し、説明書にサインをもらってください。

	ベアテル保湿ローション（越屋メディカルケア） 1本300ml 1000円（税抜） pH約5.5 弱酸性で無香料・無着色・ノンアルコール セラミドAP、スクワラン、アルギニンの保湿成分が配合されており、全身に塗布できます。 塗布後テープを貼りやすい特徴があり、化学療法中や透析、リンパ浮腫の症例にも使用可能です
--	--

★ 保湿剤ってどれくらいの量を塗布すればいいの？



軟膏・クリームチューブの場合

1FTU=約0.5g^{※1}



軟膏・クリームビンの場合



ローションの場合

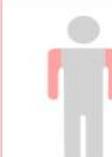
1FTUを「手のひら2枚分」の広さに塗るのが適量^{※2}

1FTU（フィンガーチップユニット）
➡ 指1関節分です手のひら2枚分の広さに塗るのが適量の目安です
ローションは1円玉分が目安です

- 1日2～数回
- 少ししっとりするくらい塗布しましょう（ティッシュペーパーが1枚付着する程度）
- 皮膚の溝の方向に沿って指や手のひらでゆっくり優しくのばしましょう



顔&頸部



上肢



下肢



体幹（前面）



体幹（背面）

軟膏使用量 FTU（1FTU=0.5g：口径5mmチューブの場合）（g）

<http://www.maruho.co.jp/>

集中ケア認定看護師の活動



◆ときどきあるある こんなときはどうしたらいいの

血圧が指示より高くなってしまったので先輩と一緒に、シリンジポンプで投与されていたニカルジピン®の流速変更を行いました。

落ち着いた頃に
血圧測ってね

はい

すぐに測ったほうがいいのかなあ
いつのことを言ってるんだろう



【ニカルジピン】

1A : 2 mg、10mg

カルシウム拮抗剤で、脳血管拡張作用・冠血管拡張作用・血圧加工作用を有する 末梢動脈血管抵抗の低下による心拍出量増加作用を有する

【代 謝】

半減期は50～60分。主として肝で代謝される。



【副作用】

悪心・食欲不振・便秘、下痢、顔面紅潮、のぼせ、動悸、下肢浮腫、倦怠感、頭痛

【注 意】

作用の強さには個体差があるので急激な血圧低下に注意、過度の低血圧時はノルアドレナリンにて昇圧をはかる。



血圧が高い時には ニカルジピン塩酸塩®を点滴投与することがあります。
効果は1分から出現してくるため約1分～10分後に血圧測定を行うことが勧められます。
超急性期の場合 は、2分ごとの血圧測定が勧められます。

◆衣替えも終え、夏の装いが目につくようになりましたね。

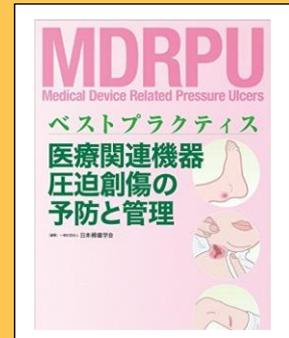
今回はおすすめの本を紹介いたします。

医療機器によって発生する創傷に困っていませんか？

一般病棟や集中治療室でマスクやカテーテル、チューブなどの
圧迫によってできる創傷についてスタンダードケアを提示されています。

日本褥瘡学会編集

「医療関連機器圧迫創傷の予防と管理：ベストプラクティス」

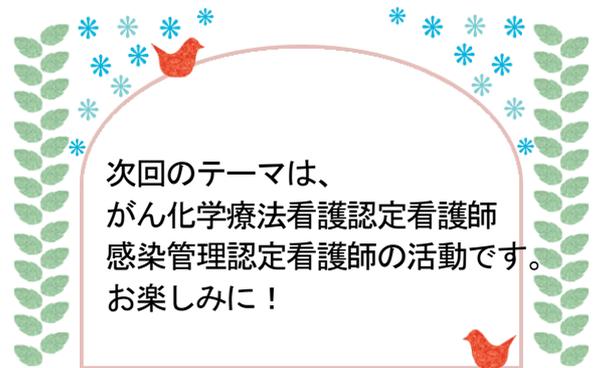


編集後記

新しいスタッフの皆さんが加わり、各病棟が活気づいてきましたね。

私たち、専門・認定看護師は、看護師をはじめ多くの方々に私どもの活動を知っていただき、ご相談いただくことで、よりよい看護を提供できればという思いでおります。

今後ともよろしくお願ひ申し上げます。



次回のテーマは、
がん化学療法看護認定看護師
感染管理認定看護師の活動です。
お楽しみに！

公立学校共済組合 関東中央病院 看護部